

# 整備効果①

# 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 沿線に立地する企業では時間短縮によるコスト削減や配送ルートが拡大が期待されます。さらに、沿線地域への企業移転や新たな企業立地により雇用促進にも繋がるとの声を頂いています。

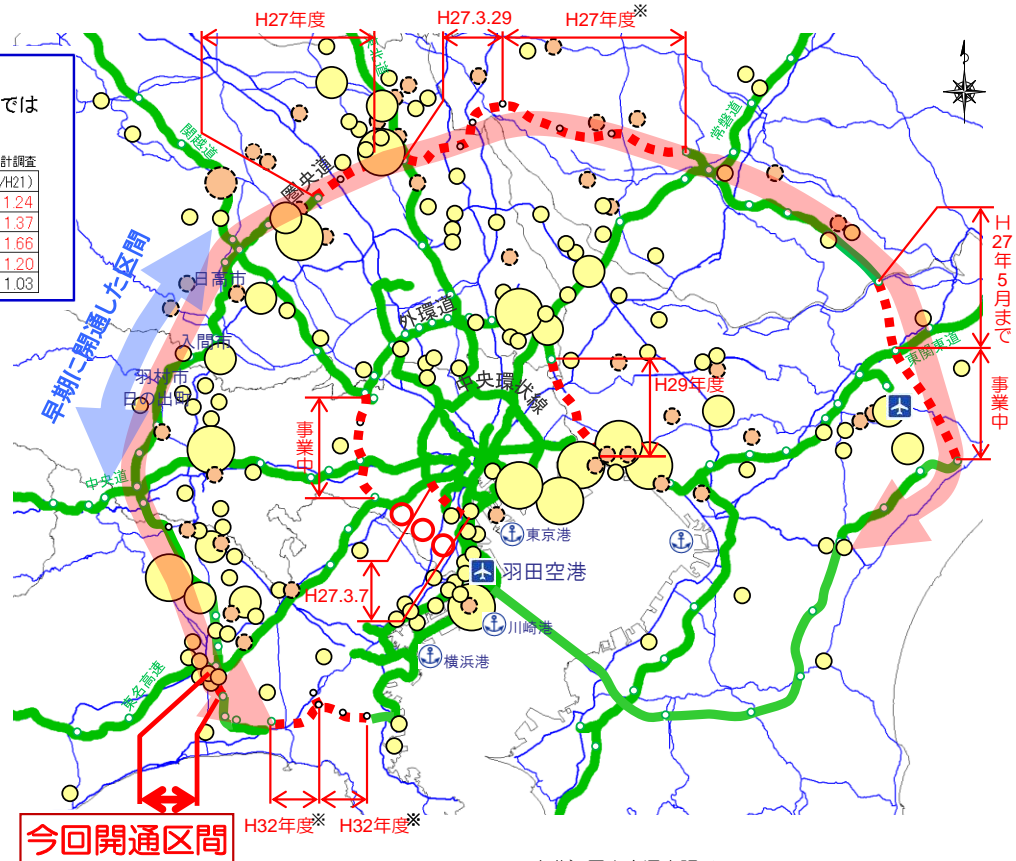
## 物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

### 【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

出典：工業統計調査



**凡例**

道路  
 高速道路  
 高速道路(事業中)  
 国道

企業立地件数  
 立地済み ○ 1~2件  
 立地予定 ○ 3~4件  
 (H26年9月時点) ○ 5件以上

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典) 国土交通省調べ  
平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出

### 印刷製造業（埼玉県内）の期待の声



原料（材料）、製品は、東京や神奈川以西への配送が多いため、大半が高速道路を利用しています。

圏央道の開通により、首都圏の高速道路の渋滞を回避して、全国各地に配送できるため、物流の効率化が期待されます。

出典：平成27年2月 ヒアリング調査  
(北首都国道事務所調べ)

### 海老名商工会議所の期待の声



圏央道が繋がることはチャンス。開通により埼玉や群馬、横浜方面が近くなり、便利になります。

海老名が物流拠点となることに期待しています。

海老名市内への企業移転も進んでおり、また、大型物流施設の立地により、雇用促進にも繋がっています。

出典：平成27年2月 ヒアリング調査  
(横浜国道事務所調べ)

- 圏央道の整備を契機に沿線地域が「さがみロボット産業特区」に指定されるなど、地域経済の活発化が期待されています。
- 沿線地域に誕生した「さがみロボット産業特区」では、実証実験の実施や、新たなシンボル施設の開設など、ロボット産業の成長と地域の活性化が推進されています。

「さがみロボット産業特区」でロボット産業の成長と地域活性化を推進

ロボット関連企業（機械製造業）の期待の声



県外からさがみロボット産業特区内へ本社及び工場の移転を進めています。  
移転の決め手は、関連する加工会社が多く立地しており仕事がしやすいことに加え、**圏央道沿線という交通の便の良さ**です。

中央道、東名、東北道の沿線や羽田空港へ訪れる機会が多く、都心を通らずにアクセスできるようになったことが大きいです。

**移転に伴い工場の面積を3倍ほどに拡大し、新たな分野への進出も考えています。**

出典：平成27年2月 ヒアリング調査（横浜国道事務所調べ）

実証実験の事例

高齢者等への生活支援ロボットエリア



写真提供：富士ソフト(株)

リハビリテーション・介護の一環として、日常会話やクイズ、ゲームなどのレクリエーションを提供することができるロボット

【ロボット関連の実証実験等エリアと新規企業立地】  
実証実験実施のため県内外から企業が集まり、本社や工場の新規立地も進む。

災害対応  
ロボットエリア

介護・医療  
ロボットエリア

凡例	
	実証実験等エリア
	ロボット特区対象市町
	さがみ縦貫道路
	高速道路等
	事業中
	計画中

これまでに**40件以上**  
の実証実験を実施！

(平成25年度～  
平成26年度)  
(平成27年2月24日現在)

今回開通区間

新規立地**9件**  
トータル投資額  
約**81億円**！

(平成27年2月5日現在)

高齢者等への  
生活支援  
ロボットエリア

「湘南ロボテラス」  
H26.12.24開設！

さがみロボット産業特区のシンボル施設として誕生した「生活支援ロボットの社会実装総合拠点」。今、手に入るロボットを一堂に集め、体験、展示、販売を行う。



写真出典：神奈川県観光協会HP

：ロボット関連の新たな企業立地  
(H25年度～H26年度に神奈川県がロボット関連産業の投資計画として認定)

※ さがみロボット産業特区

生活支援ロボットの実用化促進に向け、規制緩和等により研究開発・実証実験等の促進、関連産業の集積を図る。  
(相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、愛川町)

- 北関東にはインランド・デポと呼ばれる物流拠点の整備が進んでおり、「京浜港」と北関東とのアクセス強化は非常に重要になっています。
- 環状道路の整備により、北関東から京浜港へのアクセスが格段に強化されます。今回の開通は、その第1歩となります。

京浜港 & 羽田空港へのアクセス強化への第1歩！

インランド・デポとは

通関業務機能などを持つ内陸部の貨物集積地。

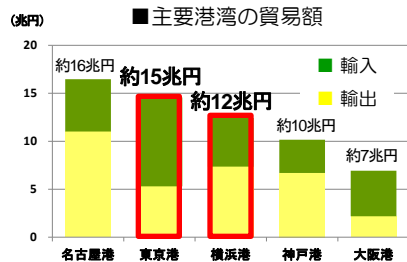
港に運ばれてきたコンテナをそのままインランド・デポに運び、通常は港で行う通関業務等を行うことができるため、経費の削減、手続きの効率化が図れるなど、内陸部における国際物流の拠点。



写真出典：(株)太田国際貨物ターミナルHP

国際コンテナ戦略港湾に選定された「京浜港」

京浜港（東京港、川崎港、横浜港）は我が国の貿易額の2割・コンテナ貨物量の4割を取り扱う、我が国の国際競争力強化のための重要な港湾です。



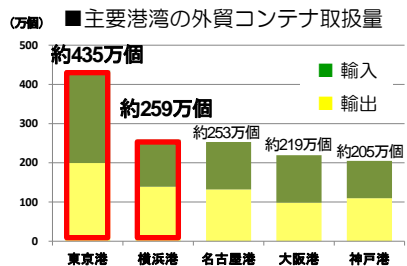
出典：積卸港別貿易額（平成25年確定値）より作成

横浜港 南本牧心頭地区

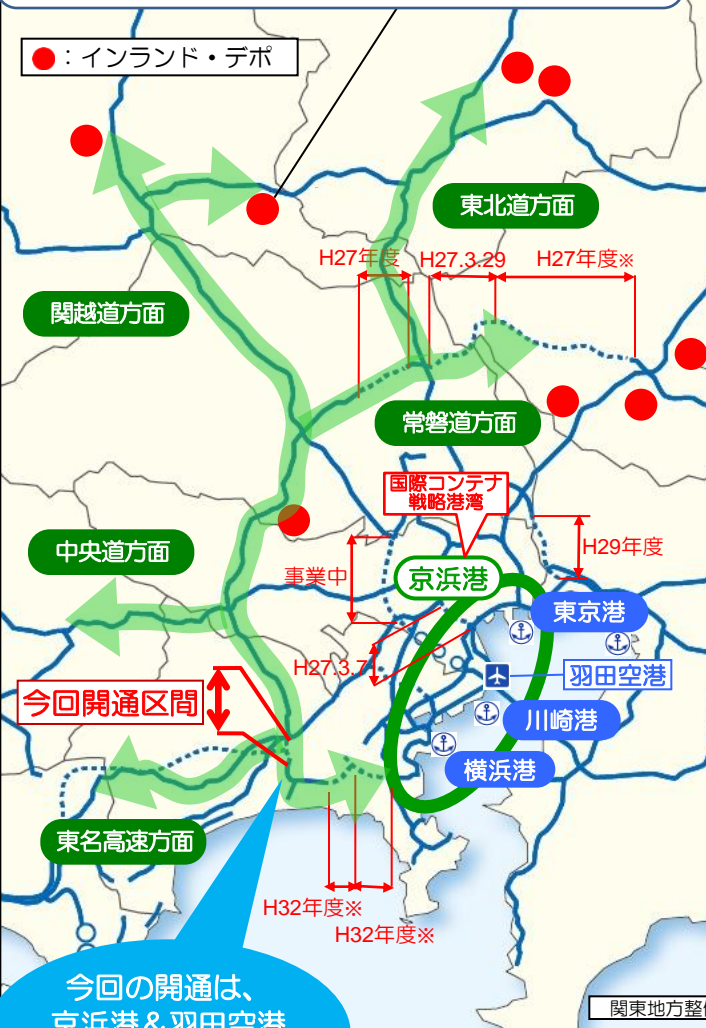


コンテナターミナル整備事業により、国内最大の大水深コンテナ岸壁を整備中。

写真出典：京浜港湾事務所



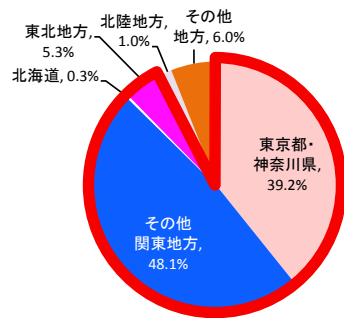
出典：港湾別のコンテナ取扱貨物量（2013年速報値）より作成



「京浜港」は東日本全体の広域インフラ

京浜港利用コンテナ貨物の生産地・消費地の構成は、直背後の東京都・神奈川県のみならず東日本全体に広がっています。

■京浜港利用のコンテナ貨物の生産地・消費地構成（輸出入計）



出典：H25年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査より作成



関東地方整備局作成資料

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

今回の開通は、京浜港 & 羽田空港へのアクセス強化の第一歩！



## 整備効果②

# 地域経済の好循環 ～広域的な観光交流の実現～

- 次々つながる圏央道により、神奈川ー栃木・群馬間の移動性が大幅に向上。
- 広域的な観光交流の実現により、新たな観光需要の喚起が期待されます。

### 湘南エリアと内陸との移動性が向上

#### 【凡例】

- 高速道路・自動車専用道
- ⇄ 整備前都心通過ルート
- ⇄ 整備後圏央道利用ルート



※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

## 整備効果②

# 地域経済の好循環 ～地域産業の振興～

- 湘南エリアは、水産は勿論、野菜や花きも県内有数の生産地です。これら農水産物は、地方卸売市場に出荷される他、地域の直売所などでも販売されています。
- 今回の開通により、湘南エリアへより気軽にアクセス出来るようになることから、鮮度の高い農水産物を楽しみに来て頂くなど、地域振興への期待の声が上がっています。

### 湘南エリアで生産される主な農水産物

#### 寒川町産業振興課の期待の声



さがみ縦貫道路の全線開通により、農業を含めた観光など、網羅的な地域振興を期待しています。

関越・中央・東北道方面からお越し頂く方々が増えることが期待されますので、「花のまち」寒川町に是非お立ち寄り頂きたいと思ます。

出典：平成27年2月 ヒアリング調査（横浜国道事務所調べ）

出荷数  
県内第1位

#### 寒川産スイートピー



写真出典：寒川町HP

花言葉が「門出」のスイートピーは卒業式シーズンに向けて生産を増加。県内で第1位※の出荷数である寒川産のスイートピー。直売所などでの鉢植えの販売も人気。

※出典：寒川町総合計画さむかわ2020プラン

年間利用者数  
60万人

#### 寒川町「わいわい市」



写真出典：JAさがみHP

寒川町の登録農家を中心に産地直送の新鮮な野菜・果実・生花・卵などを販売。

採れたての野菜を求めて年間約60万人※の利用者が訪れる寒川町における都市型農業の中心施設。

※出典：寒川町産業振興課

#### 凡例

- ：地方卸売市場（青果）
- ：地方卸売市場（水産）
- ：地方卸売市場（花き）



関東の生産額  
の約3割

#### 湘南シラス



写真出典：茅ヶ崎町HP

関東の生産額の約3割を占める神奈川県湘南シラス。

主な水揚げ地は横須賀、葉山、逗子、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚、大磯。足が速く、獲れた日にしか味わうことができない貴重品。

※出典：神奈川県HP 農林水産部





## ■今回開通区間の状況

えびなし しやけ  
①海老名JCT(海老名市社家)



えびなし かどさわばし  
②海老名南JCT(海老名市門沢橋)  
平成28年度開通予定



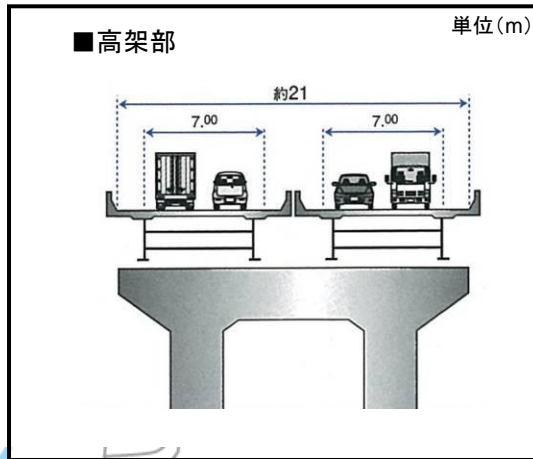
こうざくんさむかわまちみやま  
③寒川北IC(高座郡寒川町宮山)



平成27年1月撮影

凡例	
<span style="color: blue;">—</span>	開通済区間
<span style="color: red;">—</span>	今回開通区間
<span style="color: blue;">⋯</span>	事業中

## ■今回開通区間の標準断面図





# さがみ縦貫道路 全線開通までの経緯

- さがみ縦貫道路は、横浜湘南道路や高速横浜環状南線とともに圏央道の神奈川県区間を構成する自動車専用道路で、神奈川県における南北方向の大動脈を形成します。
- 平成22年2月に海老名JCT～海老名ICの区間が最初に開通し、順次延伸してきました。今回の寒川北IC～海老名JCTの開通により、さがみ縦貫道路としては全線開通となります。

●さがみ縦貫道路（圏央道） 延長：約34.0km  
 区間：神奈川県茅ヶ崎市西久保（茅ヶ崎JCT）～神奈川県相模原市緑区川尻（都県境）

## ■さがみ縦貫道路の歴史

昭和63年度	さがみ縦貫道路の区間で初めて事業に着手 (茅ヶ崎JCT～東名高速道路)
平成6年6月	都市計画決定 (茅ヶ崎JCT～相模原愛川IC)
平成9年5月	起工式 (茅ヶ崎JCT～相模原愛川IC)
平成9年6月	都市計画決定 (相模原愛川IC～都県境)
平成22年2月	海老名JCT～海老名IC間開通
平成25年3月	海老名IC～相模原愛川IC間開通
平成25年4月	茅ヶ崎JCT～寒川北IC間開通
平成26年6月	相模原愛川IC～高尾山IC間開通
平成27年3月	寒川北IC～海老名JCT間開通

## ■沿線の主なできごと

- 平成7年 神奈川県総合防災センターができる
- 平成16年10月 神奈川県において「インベスト神奈川」策定  
 ※神奈川県の「インベスト神奈川」とは、企業立地を積極的に支援（低利融資、減税措置等）する制度。
- 平成21年 神奈川県の人口が900万人を超える
- 平成22年 相模原市が政令指定都市になる
- 平成25年2月 「さがみロボット産業特区」指定  
 ※神奈川県は、圏央道の全面開通を控え、さがみ縦貫道路沿線自治体にロボット関連産業を集め、新たな産業集積地域を目指し、地域活性化総合特区「さがみロボット産業特区」の取組をスタート。
- 平成26年5月 「かながわシープロジェクト」発足  
 ※2020年の東京オリンピック開催や2014年度完成予定のさがみ縦貫道路の全面開通を控え、神奈川の「海」の魅力を世界に向けて発信する神奈川県のプロジェクト。



今回の開通により『さがみ縦貫道路』全線開通！！